



節税



電子化 (スキャニング)

「一石二鳥、三鳥のメリット」

- 🐦 作業を外注→**節税**
- 🐦 紙文書電子化により業務効率化→**来期への布石**
(紙文書検索時間短縮、情報共有化)
- 🐦 紙文書電子化により省スペース→**来期へ向けて有効活用**

<電子化書類例>

- 納入図面、完成図面、技術資料、品質関係書類、
その他様々な紙文書



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
 冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
 電子化業務 紙文書・紙図面スキャニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
 CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
 コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
 その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャニング、WEB制作

コウワ/ワ

7

Vol.34

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウワ/ワ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.34

2018

7
July



最近、テレビ、新聞等でRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)という言葉が頻繁に出てくるようになりました。事務作業の定型的な業務を自動化で行うテクノロジーです。人手不足、働き方改革を背景に、具体的事例もいろいろ出てきているようです。「事務職が大幅に減っていく時代に入っていくのか?」弊社の業務にも少なからず影響を及ぼすことですので、注視していきたいと思えます。

代表取締役 日笠宏昭



電飾看板



あらゆる素材に出力できます



LEDを使ったサイン



出力しながら左右をカットする
インクジェット出力機
(ラテックスインク使用)



入口



会場風景



会場MAP

先月、大阪南港ATCホールで行われた、SIGN EXPO 2018(第33回広告資機材見本市)に行ってきました。今月は、その様子を紹介させていただきます。

SIGN EXPO は、屋外広告の業界団体が主催し、デザイン・ディスプレイ・ネオン・広告・マスコミ等の業界団体が協賛している見本市です。

現在、屋外、屋内にかかわらず、紙の印刷物ではない広告物はほとんどがインクジェット出力により制作されています。使われるインクも、従来からの**溶剤系インク**のほか、乾燥時間を大幅に短縮でき、環境にもやさしい**UV インク**、臭気が少なく乾燥も早い**ラテックスインク**などが使われています。今回も、**インクジェット出力機の新製品**が多数出品されていました。

業界の特質だと思いますが、大きなイベント前には、制作物のデータの入稿が直前になったり、急に変更になったり、夜を徹して出力・加工作業を行うことも多いようです。最近の働き方改革・人手不足の流れで、「乾燥時間がいらぬ」「出力とカットを同時に行う」「高速出力」等、効率化が新製品のキーワードになっているようでした。

それ以外にも「サインの未来がここにある」という副題に沿った展示がされていました。

- LED を使った様々なサイン
- インクジェット出力に使用する様々なメディア (素材)
- カuttingマシン等の加工機
- デジタルプリント壁紙
- ウィンドウフィルム (素材と施工)
- 大型広告物の設置・施工に関する機材や施工方法
- 多種多様な金属製銘板、木製看板
- チャンネル文字 (様々な素材で作られる立体の文字、「箱文字」「立体文字」とも言います)
- 自動車、バス、電車等への出力物によるラッピング



木製看板



チャンネル文字

~ひとくちメモ~



なにわの海の時空館 (現在)

久しぶりに大阪南港 ATC (アジア太平洋トレードセンター) に行きました。このあたりは大阪市の乱開発がすべて破綻した負の遺産地域です。(ATC 1994年開業 2003年破綻、WTC (現在はコスモタワー) 1995年完成 2003年破綻、なにわの海の時空館 2000年開業 2013年閉館) 寂れた雰囲気は相変わらずですが、免税店はインバウンド客で賑わっており、週末は子供向けイベントや「あそびマーレ」という室内遊園地で家族連れが来るようです。別府行のフェリー「さんふらわあ」の発着場にもなっており、以前と比べると少しは持ち直している感じがしました。(実際の経営状況はわかりませんが)